

化学療法(アバスチン)ユニットを受けられる方へ

	入院日	治療当日 	2日目	3日目	4日目	退院日
目標	治療の内容が分かる。 日常生活の注意点について分かる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 薬に対してアレルギー症状がない。 点滴のところに赤み・腫れ・痛みがない。 治療に伴う症状に気づき、知らせることができる。	体温・血圧・脈拍が安定している。 治療に伴う症状に気づき、知らせることができる。 食事を食べることができる。 日常生活の注意点について分かる。			
説明	入院生活、化学療法について、また副作用のケアについて説明します。初回の治療時はパンフレットを使用しながらお話しします。 アバスチンの副作用で血圧が高くなることがあります。入院中から血圧の値をノートに記入して、血圧の変化が分かるようにしていきましょう。 (初回の治療の時にアバスチン治療ダイアリーをお渡しします。このノートに記入しましょう。)	38℃以上の発熱・下痢・便秘・嘔吐が続く場合、また激しい腹痛や出血・下血がある場合はすぐに知らせて下さい。 点滴が終了してから1週間程度、点滴が入っていた場所に、赤み、痛み、腫れ、水ぶくれ、ただれがあればすぐに知らせてください。  記入の必要な書類があれば、早めに提出してください。			退院後の生活について説明します。 	医師より退院後の外来受診などについて説明があります。
検温	 1回	6時、10時、14時、19時 抗がん剤点滴中は、この時間以外にも測定に伺います。	体温………6時、14時 血圧・脈拍…6時、10時、14時、19時	体温………14時 血圧・脈拍…6時、10時、14時、19時		
排泄	トイレまで歩行できます。	トイレまで歩行できます。 点滴中の歩行は、転ばないように注意しましょう。	トイレまで歩行できます。			
処置		9時頃に医師が点滴の針を入れ、点滴が始まります。 抗がん剤の点滴中は心電図を付けます。 点滴中腕が腫れたり痛みを感じる時や、普段と違う症状が出たら、すぐにナースコールを押してください。	眠れない時、気持ちが悪い時、便秘の時などは、必要に応じお薬の使用ができます。 水分は多めに摂るように心がけましょう。1日に1000～1500mlが目安です。			血液検査と尿検査があります。
内服薬	内服されているお薬の確認を行うため、お薬は全て看護師にお渡しください。					
安静	制限はありません。	点滴中は病棟内のみ歩行できます。 抗がん剤の点滴中は、点滴がもれないように、できるだけベッド上で安静に過ごしましょう。	制限はありません。			
食事	制限はありません。	食べられる時に食べられるものを食べるようにしましょう。 食事が食べられない時は食事変更ができますのでご相談ください。 				
清潔	シャワー浴可能です。	点滴中のためシャワー浴は出来ません。	シャワー浴可能です。			